伊豆・東部

チャレンジ 伊豆・東部

ここ推し

熱川バナナワニ園

—熱川ばにおグッズベスト5—

1位 Tシャツ

2位 ぬいぐるみ

3位 エコバッグ

4位 キーホルダー

5位 ミニタオル

副園長 神山浩子さん

7年前に誕生したキャラクターで、2018年の開園60周年を機に「熱川ばにお」と命名しました。現在、グッズは30種ほど。Tシャツは子供用もあり、親子おそろいで買う方もいます。通販も人気で、コロナ禍の売り上げを支えてくれています。

東伊豆町奈良本1253の10
＜電0557(23)1105＞

※随時掲載します

天津さん（伊東出身）日経小説大賞

市長に報告 南北朝人間ドラマ描く

日経小説大賞の喜びを小野市長（左）に報告した天津さん＝伊東市役所

伊東市出身の作家天津佳之さん(41)＝大阪府＝がこのほど、市役所に小野達也市長を訪ね「第12回日経小説大賞」受賞を報告した。天津さんは「受賞できるとは思ってなく、とても驚いた。今後も精進していきたい」と喜びを語り、デビュー作となった歴史小説「利生の人 尊氏と正成」10冊を寄贈した。

天津さんは15歳のころから小説を書き始め、大学卒業後は書店員や編集プロダクション勤務を経て28歳で歴史小説家に転向。現在は環境関連の業界新聞出版社に勤務しながら執筆活動を続けている。

同大賞は長編小説の公募文学賞。天津さんの作品は鎌倉から南北朝に至る混乱の時代の人間ドラマを足利尊氏や楠木正成、後醍醐天皇の視点から描いた。特に「戦時中は戦意高揚に利用されるなどイデオロギー的に描かれてきた正成をフラットに表現した」（天津さん）という。

小野市長は「伊東の歴史も取り上げてもらいたい。新図書館が完成した時に専用コーナーを設置できるくらい多くの作品を発表してほしい」と激励した。（伊東支局・山本一真）

チャレンジ 伊豆・東部

沼津商高生

認知度向上へすごろく

開発、近隣市町に寄贈

伊豆半島ジオパーク

沼津商業高（清水町）情報ビジネス科の生徒が、伊豆半島ジオパークの認知度向上と集客アップに向けて伊豆を盛り上げる魅力発信に取り組んでいる。地元の子どもたちに楽しみながらジオパークを学んでもらおうとすごろくゲームを開発し、近隣市町に寄贈して活用を呼び掛けている。

取り組みは3カ年事業
で行う課題研究（地域研

すごろくはより興味を持
てるよう冒険形式で楽し

放課後児童教室に贈呈した。児童が生徒とすごろくを体験し、遊び方のポイントを教わった。すごろくは、同町と三島市、沼津市の一部の児童クラブにも贈呈している。（東部総局・水野紗希）

富士市

子育て支援認定制度

5社選出、連携へ

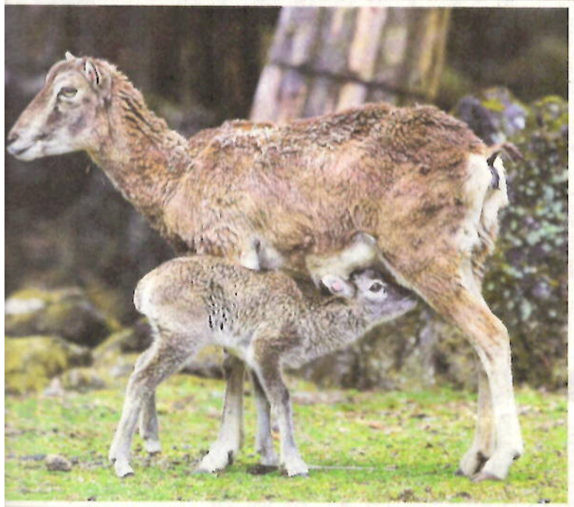
子育て支援に積極的に取り組む企業や団体を認定する富士市の「はぐくむFUJIオフィシャルサポーター認定制度」の認定式がこのほど、市役所で開かれ、制度開始後初の認定団体として5社に認定証が贈られた。

認定を受けたのは人材派遣業「アイ・ブロード」、LPガス製造販売「富士酸素工業」、ペット用品製造販売「コーチョー」、学習支援業「キャリアドライブ」、菓子製造「田子の月」。小長井義正市長が各社代表者に認定証を手渡し、「取り組みをさらに広げ、温かい子育て環境作りに協力してほしい」と話した。

各社代表があいさつし、コーチョーの代表者は学校行事での休暇取得制度などを紹介した。各社代表は「仲間ができて頼もしい」「事例を共有してまねたい」などと意気込みを語った。

同制度は官民協働少子化対策事業として、従業員の仕事と子育ての両立▽地域での子育て支援▽独自の子育て事業に取り組む企業を市が認定し、情報発信やイベント開催などで連携する。今後、毎月5社ほどを認定していく。

認定を受けた5社の代表者ら＝富士市役所



母親に寄り添うムフロンの赤ちゃん＝裾野市須山の富士サファリパーク

て、運が良ければ出産が見られる可能性もある。岩場をじっくりと探してみてほしい」と話した。

東海バスが三島—松崎間快速を再開

来月から

東海バスは新型コロナウイルスの影響で運休していた熱海市内名所循環「湯〜遊〜バス」を27日から、三島駅—松崎間の快速、特急バスを4月1日からそれぞれ再開する。

湯〜遊〜バスは熱海駅発着で1日12本運行し、サンビーチや熱海城、起雲閣などを巡る。快速、特急バスは1日2往復で、長岡温泉や土肥港などを経由しながら同区間を最短1時間51分で結ぶ。

また、修善寺駅—八丁池口線は4〜11月の土日、祝日とゴールデンウイーク（4月29日〜5月5日）に運行する。

歌手の土橋さん 音楽で20人と交流

富士宮高校会議所

土橋さんと語り合う高校会議所のメンバー＝富士宮市西町

富士宮高校会議所がこのほど、シンガー・ソングライターとして活動する土橋悠宇さん(28)＝裾野市＝を招いた音楽講座を富士宮市の西町レトロ館で開いた。同会議所が開催している「高校生パフォーマンス大会」の充実に向けた取り組み。

講座には会議所のメンバーら約20人が参加し、「ミュージックコミュニケーション」をテーマに土橋さんと交流した。10年近く音楽活動を続けている土橋さんはシンガー・ソングライターを目指した経緯や音楽への思いを語り、参加したメンバー一人一人と意見を交わした。オリジナル曲も披露し、力強くも優

尾良華さんと同会議所オリジナル曲の作成に関する座談会に臨んだほか、定例会で富士宮ライオンズクラブから協賛金の寄付を受けた。

住民サービス向上 包括連携協定締結

富士宮市と日本郵便

富士宮市はこのほど、日本郵便と住民サービスの向上に向けた包括連携協定を締結した。地域住民の安全・安心な暮らしの確保や

郵便局と協定を締結して地域の見守りや道路損傷、不法投棄の情報提供など協力を受けてきたほか、管内郵便局との「まちづくり協議会」を年1回開催して連携を図ってきた。

市役所で開かれた締結式では、日本郵便の

伊豆の国市職員ら 聖火ルートを清掃

伊豆の国市と市職員組合はこのほど、市内の東京五輪・パラリン

植え込
れ葉な
い集め
＝伊豆
の韮山

ピック
リレー
ートの
を行っ
職員
の家族
60人が参加し、世
産・韮山反射炉か
山時代劇場までの
トの県道などで
拾い集めた。韮山
炉では、植え込み
まった枯れ葉など
収した。

同市での聖火リ
は6月25日。反射
出発して蛭ケ島公
を通り、同劇場ま
2・6キロの道のり
人でつなぐ。

10年後の松崎町 住民50人考える

静岡大と連携

松崎町はこのほど、「10年後の町の未来」をテーマにした住民参加型のワークショップを町環境改善センターで開いた。静岡大などとの連携プロジェクトの一環で、2月末に続き2回目の開催。中学生から大人まで約50人が参加し、将来の地域振興を考えた。

松崎高の生徒が
提案した町の理
「2030松崎ゴ
を基に話し合った
ールは「何度でも
くなる中毒性の
町」「子育てを
い町」など13項目
参加者はグループ
各項目を深掘りし
具体案として「鉄
開通」「産婦人科
隔診療の実現」な
挙がった。

来年度からは各
ルを観光や福祉な
分野
け、そ
れにプ
エクト
ムを設
町政に
せる施
検討す
理想の
現する
具体的